



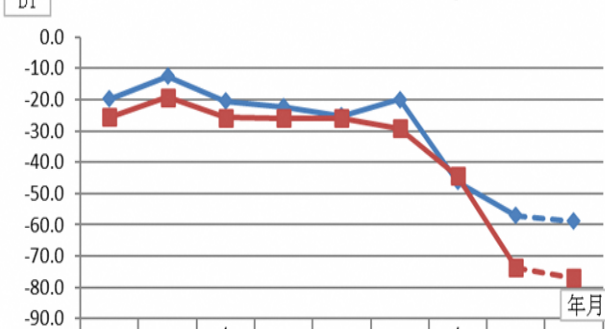
村上市 景況調査報告

〈令和2年4-6月期の実績・令和2年7-9月期の見通し〉

『新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化、厳しい状況続く』

■村上市の業況

業況判断DIの推移(全業種計)

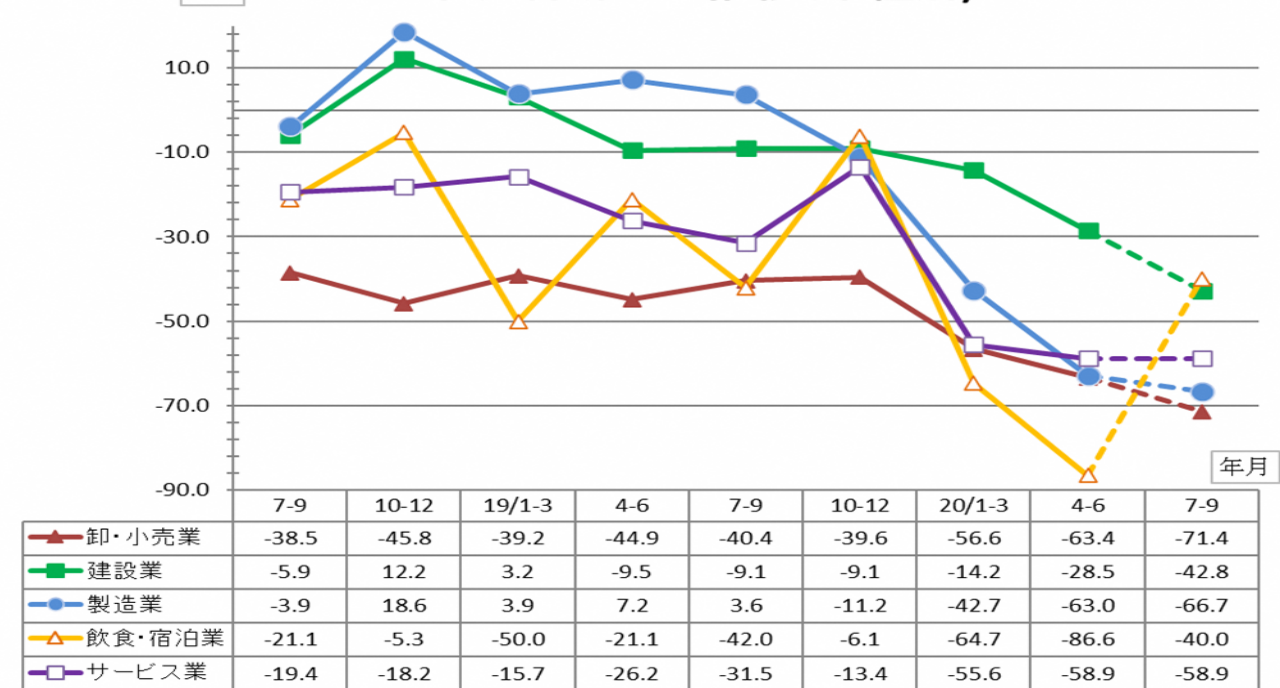


今期(4-6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(1-3月期)と比べ、10.9ポイント低下し▲57.0となった。前期における今期予測(▲63.3)までの低下にはならなかったが、2期連続での低下となり、前年同期比では34.7ポイント低下した。全国DIでも29.3ポイント低下し▲73.7となった。

新型コロナウイルスの影響は引き続き大きく、全業種でDIが低下し、全体のDIも押し下げる結果となった。

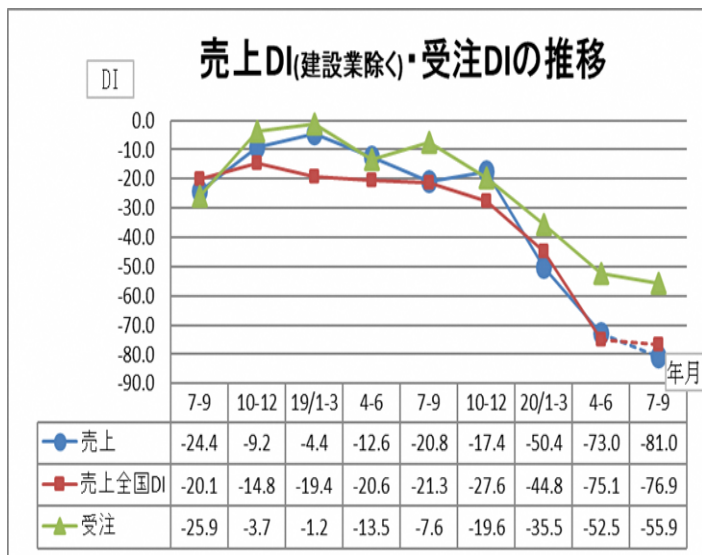
来期(7-9月期)についても、1.8ポイントの低下で▲58.8となる見通しだが、業種別で見ると飲食・宿泊業だけはGoToキャンペーンの期待感からか、大きく改善が見込まれている。全国DIも3.3ポイント低下し▲77.0となる見通し。

業況判断DIの推移(業種別)



■業種別の動向

卸・小売業	卸売業は飲食店休業により不調。小売業では自粛の影響が牛肉や家具の売れ行きが良い。自動車修理業では車での外出が少ないことによるメンテナンスが減少。全体としての見通しは停滞気味。	飲食・宿泊業	繁忙期のGWの大幅な落ち込み。見通しとしては各種お祭りやイベントの中止、成人式の延期などにより帰省客もあまり見込めないが、少しずつ来客数が戻ってきている。国のGoToキャンペーンに期待。
建設業	4-6月期は好調だった企業とそうでない企業に明暗が分かれている模様。この先の受注の見通しは、さらに厳しくなりそう。	サービス業	運送業ではスポット便や給食便が減少し、6月には休暇取得を促進。祭り関係業種では中止による売上減少やこの先の資金繰りへの不安が残る。理美容業では少子高齢化や人口自然減などの要因に新型コロナウイルスの影響も加わり、さらに厳しい状況で回復の遅れが懸念される。
製造業	コロナウイルスの世界的な拡大により航空機業界においては、受注が大幅に減少し、従業員に休業要請を実施している状況。印刷業ではイベント中止による印刷物の減少。食品製造業では学校給食の停止や外食産業不振などが影響。		



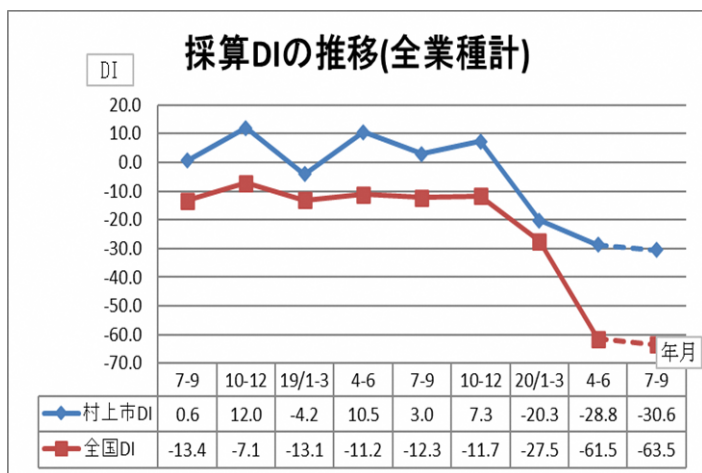
今期の売上DI(建設業除く)は、前期に比べ22.6%低下し▲73.0となった。前期における今期予測(▲78.2)までは低下しなかったが、前年同期比でも60.4%低下した。全国DIは、前期に比べ30.3%低下し▲75.1となった。来期については、8.0%低下し▲81.0となる見通し。全国DIも1.8%低下し▲76.9となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期比で17.0%低下し▲52.5となったが、前期における今期予測(▲59.6)までは低下しなかった。前年同期比では39.0%低下した。

来期については、3.4%低下し▲55.9となる見通し。

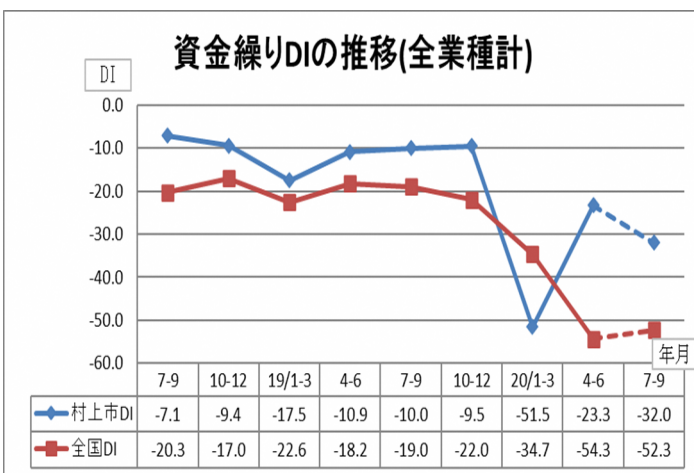
【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	▲20.0	▲31.5	▲42.9
・製造業	▲55.6	▲83.3	▲75.0



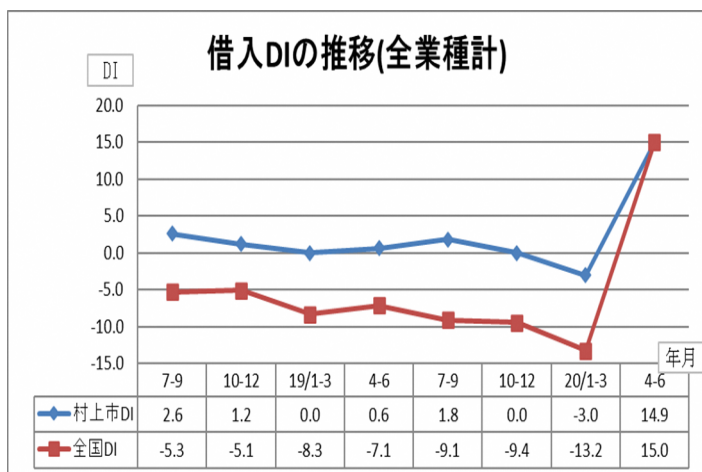
今期の採算DI(全業種計)は、前期比8.5%低下し▲28.8となった。前期における今期予測(▲28.5)より0.3%低下し、前年同期比でも39.3%低下した。全国DIは34.0%低下し▲61.5となった。

来期については、1.8%低下して▲30.6となる見通し。全国DIも2.0%低下し▲63.5となる見通し。



今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期比28.2%上昇し▲23.3となった。前年同期比で12.4%低下しているものの、前期における今期予測(▲55.5)よりは大幅に改善されている。これはコロナ対策特別融資等で資金調達が容易になったからか。全国DIは19.6%低下し▲54.3となった。

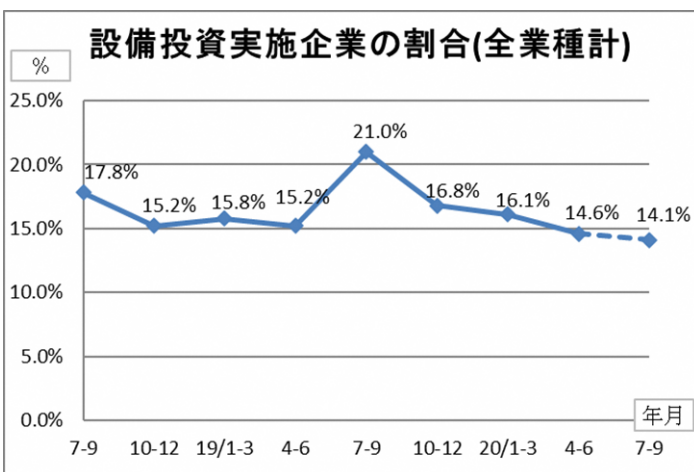
来期については、8.7%低下し▲32.0となる見通し。全国DIは2.0%上昇し▲52.3となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ17.9%上昇し14.9となった。全国DIも同様に大きく改善している。

【借入DIの内訳】

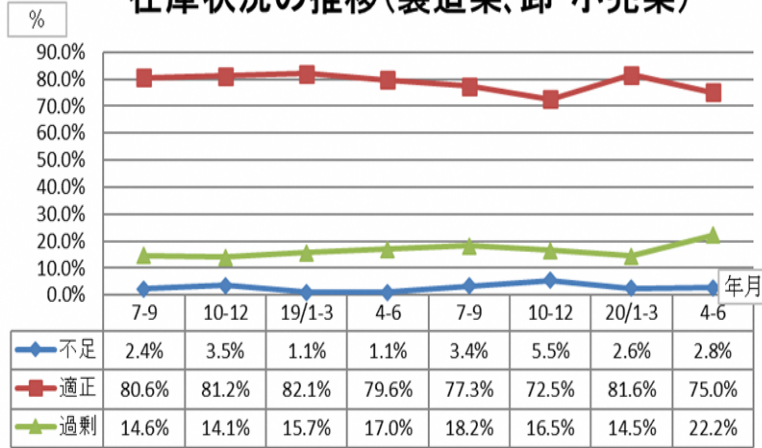
	前期	今期
・容易になった	3.0%	→ 16.8%
・変わらない	39.2%	→ 33.5%
・難しくなった	6.0%	→ 1.9%



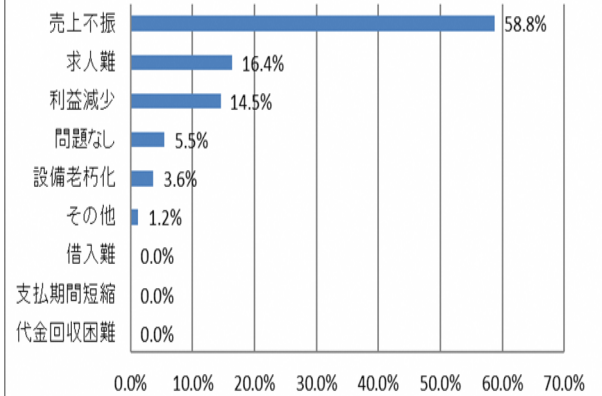
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、1.5%低下し14.6%となった。しかし、前年同期比では0.6%低下した。

来期に設備投資を予定している企業の割合は、0.5%低下し14.1%となる見通し。

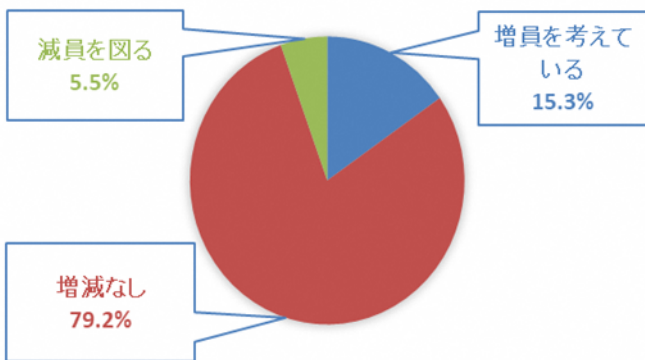
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



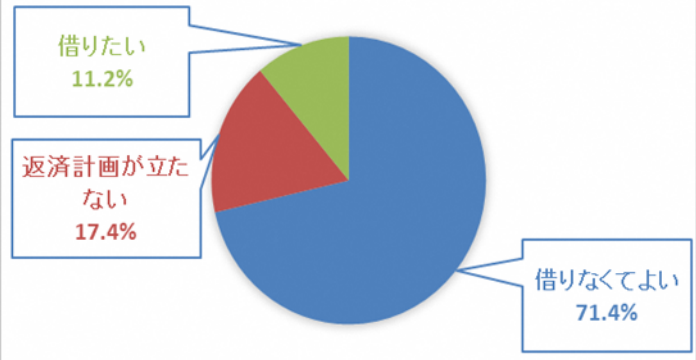
経営上の問題点



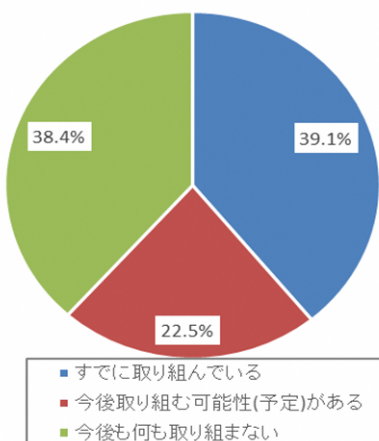
雇用計画(見通し)



資金需要(見通し)



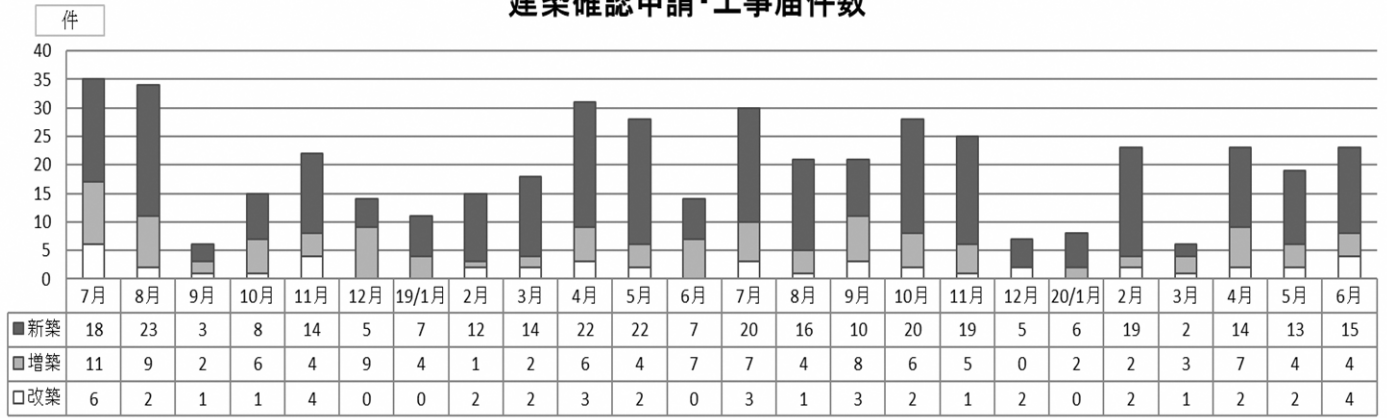
■『新型コロナウイルス対策として、新たに始めた取り組み及びこれから取り組もうと思っていることなどがありますか?』の質問に対する集計結果



<主な取り組み内容及びこれから取り組む内容>

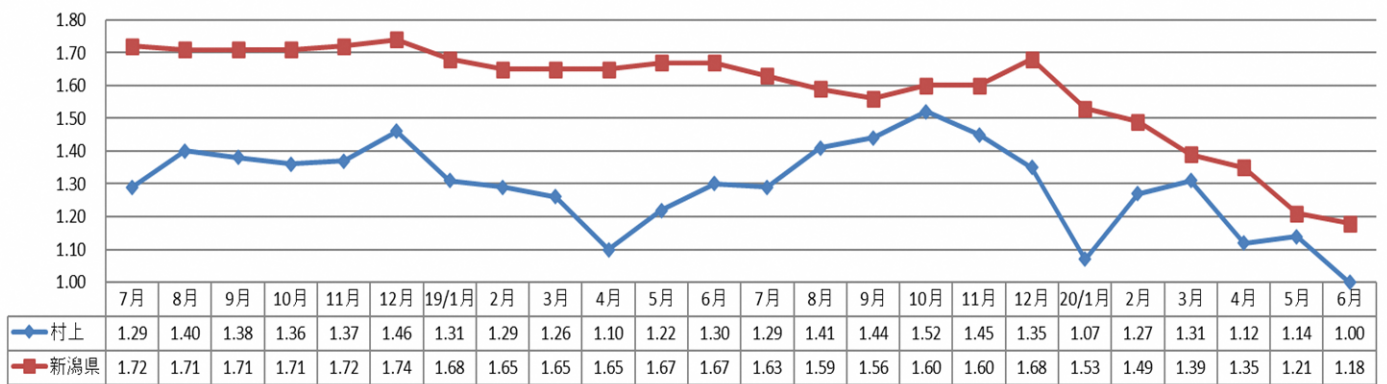
卸・小売業	消毒液・飛沫防止シート・空気清浄機の設置、キャッシュレス決済の導入、補助金でチラシ作成
建設業	従業員へマスクの配布・着用、消毒液・飛沫防止シートの設置、日々の検温、WEB面接、WEB会議
製造業	マスクの配布・着用、WEB会議
飲食店・宿泊業	デリバリーの開始、3密対策(席数の間引き、人数制限等)、補助金で換気対策(網戸設置)
サービス業	従業員へマスクの配布・着用、消毒液・飛沫防止シート・電解水の設置、日々の検温、室内のこまめな消毒

建築確認申請・工事届件数



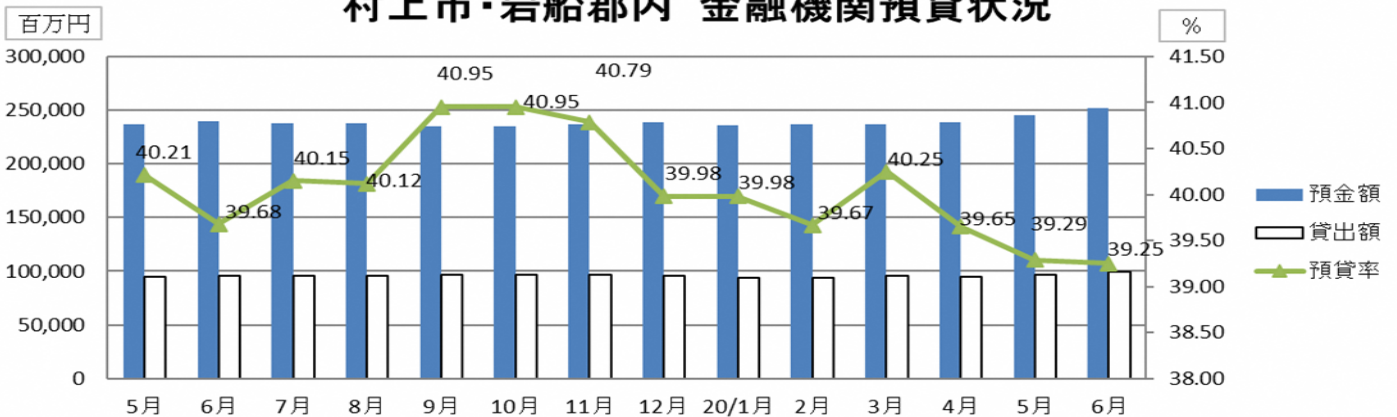
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2020年6月中旬～2020年7月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:165社(回収率82.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査(小企業編)結果/日本政策金融公庫 (全国DI) 〈2020.4～6実績、2020.7～9見通し〉

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する)